

【8月7日】

◆警告:新しい米国連邦取引委員会(FTC)のガイドラインでは、合成ダイヤモンドの完全な開示が求められている。

FTCは「ダイヤモンド」という言葉の定義に合成を含めていないが、天然ダイヤモンドではない事が明確に開示されていない場合は、「ダイヤモンド」の使用を天然に限定している。

アントワープとイスラエルが夏季休暇のため取引センターは静か。

◆インド:他の取引センターが夏季休暇のため一部取引が改善。

中国、ベルギー、イスラエル、米国のバイヤーがムンバイで商品を探している。

IIJSショー(8/9-13)は、インドルビー下落による内需停滞のため期待度は低い。

原石価格が上半期4%上昇、研磨業者の利益が圧迫される中7月の研磨石価格が軟化。

ダイヤモンド市況概況

De Beersサイト以降、原石取引が鈍化。

◆香港:市場は安定している。I ct以上の商品よりGIA Dossier付商品の売上好調。

0.30-0.50ctの需要が最も高い。

バイヤーは、仕入れ対象商品をJ-Mなどローカラーに移行している。

バイヤーは人民元下落により慎重、9月の香港ショーで価格動向を探る展開。

上半期の販売が好調のため市場心理は改善したが、米-中の関係悪化が懸案事項。

◆RapNet Diamond Index(D-H, IF-VS2)、ベストプライスはすべて下落。

ベストプライスはすべてのレンジで0.3%から-0.9%の下落。

平均価格は0.5ctのみ0.2%上昇、他はすべて下落。

Rapaport® Diamonds.netより一部抜粋

【提供: 株式会社ネットジャパン http://www.net-japan.co.jp/market/2018/08/post\_219.html】



極薄機械式ムーブ「キャリバー6870」 誕生25周年記念限定モデルを発売

セイコーウォッチ(株)の高級ウォッチブランド「クレドール」から、世界最薄レベルの極薄機械式ムーブメント「キャリバー6870」誕生25周年を記念した限定モデルが10月12日より全国のクレドール取扱店で発売される。価格250万円+税、数量限定25本。

25周年を迎えたキャリバー6870の更なる飛躍を望み、風を切って翔け上がる鳳凰の姿を表現したのが特徴。煌びやかな螺鈿細工・蒔絵と、漆黒の漆塗りなどが大胆にレイアウトされた特徴的なデザインは、世界的に名高い漆芸家・田村一舟(たむらいっしゅう)氏が、螺鈿と様々な蒔絵の技巧を組み合わせ

せた。周年記念の「25」分(5時)に位置する鳳凰と12時位置のクレドールマークは、田村氏の真骨頂である高蒔絵で表現。緻密ながらも力強い立体感と雅やかな躍動感のある表情だ。

鳳凰とともに翔け上がる風や雲は、細かく切った短冊状の螺鈿と微細な金・プラチナの蒔絵。一見長い直線に見える線状の蒔絵は、金粉、プラチナ粉を一粒一粒丁寧に置いていった点の集合体で、今作のために田村氏自身

が手作りで専用の筆を使用。卓越した熟練技で螺鈿と蒔絵が美しく調和する。

シースルーバックから見える美しいムーブメントには、初代キャリバー6870と同様、華やかな金色を採用。裏ぶたに限定シリアルナンバー入り。

レギュラーモデルは、漆芸の技をモダンな表情で見せ、ビジネスシーンでもさりげなく個性を演出。広大な大自然の中で星々がゆったりと流れるさまを、煌めく大小の螺鈿細工で6時位置の小秒針部分に表現。細くて長い12、3、9時のインデックスは螺鈿細工、その他のインデックスと小秒針周りの4か所のマークは高蒔絵で描かれている。価格は85万円+税、11月9日発売。

華やかさと実用性を兼ね備えた 働く女性のための「シチズン エクシード プレシヤス」ブランド初のハッピーフライトを搭載



シチズン時計(株)は、洗練されたデザインと確かな品質で、一生つきあえる本物の時計を提案するブランド「シチズン EXCEED」の、大人の女性に向けたラグジュアリーライン「シチズン エクシード プレシヤス」から、光発電エコドライブを搭載した腕時計2モデル(価格:27万円+税、37万円+税)を、8月10日に百貨店内時計売り場や時計専門店にて発売開始した。ブランド初のハッピーフライトを搭載した光発電エコドライブ電波時計の

登場で、仕事にプライベートに充実した毎日を送る大人の女性にふさわしい特別な輝きを放つ時計として更なる注目を浴びている。

ベゼルには18Kイエローゴールドを使用し、シンプルなデザインに洗練された華やかさを加えた。ES9404-54W=【写真】は彫刻を施した白蝶貝の文字板に、ダイヤモンド22ポイントを配した。ES9404-54Aは文字板に、日本三大和紙のひとつ「土佐和紙」を採用している。

エコドライブは、定期的な電池交換が必要なく、ハッピーフライト機能は、正確な時間を刻む電波受信機能と世界24都市の時間がすぐわかる。

シチズン時計は、部品から完成時計まで自社一貫製造するマニファクチュールの、世界130ヶ国以上で展開するグローバルカンパニー。1918年の創業以来、「Better Starts Now」どんな時であろうと『今』をスタートだと考えて行動する限り、私たちは絶えず何かをより良くしていけるのだ」という信念のもと、世界に先駆けて開発した光発電技術「エコドライブ」や、最先端の衛星電波時計など、常に時計の可能性を考え開発を重ねてきた。2018年に創業100周年を迎えた同社は、これからも時計の未来を切りひらく。



上野延城の「とれたてカエル」 「時流」 「対応」のビジネスに役立つヒント

www.mmjp.or.jp/UENO-JMI

かつては街の書店に足しげく通っていた人も、大型書店やインターネット書店で本を手にいれることが増えたのではないだろうか。

2017年の紙の出版物(書籍・雑誌合計)の推定販売金額は、前年比6.9%、減の1兆3701億円で13年連続マイナスを記録している。

電子出版市場単体では、前年比16%の伸びが見られるものの、業界全体を押し上げるほどのインパクトはない。

日本出版インフラセンターの統計によると、2007年度に1万7327店舗あった書店は、2017年度時点で1万3576店舗にと10年間で3751店舗減少している。およそ一日一店舗のペースで書店が減っている計算になる。

ある雑誌のコラムに「読書犬」のことが載っていた。読書犬とは犬が本を読むだけでなく、人が読書をするのを「聞く」犬のことである。

読書や朗読が苦手な子ども、文字を読むことが困難な子どもたちをサポートするのが読書犬の役割である。

フィンランドは国民の図書館利用率が世界のトップクラスである。2016年の統計によると、人口の36%が公共の図書館で本やCDを借りたという。

ヘルシンキの中心部に程近い図書館は、地元の小学校との連携に「読書犬」の導入を決めた。この記事を読んで、書店の集客に応用できないか考えた。

読書犬のいる書店は、本から遠ざかっていきそうなビジネスマンを静かに支えてくれる。

犬が飼いたくても飼えないビジネスマン・ウーマン、仕事帰りに利用する書店に読書犬がいたら仕事の疲れも癒されるのではないだろうか。

足を運ぶのが楽しみな書店、本を手に入れることが習慣になり、本を読む楽しみを覚える。

自分の疑問、自分の好奇心、自分の悩みに応えてくれる本のある暮らしが日常になっていく。

活字離れが問題なのではなく、書店の役割が問題なのである。

『店舗の読書犬導入の経営戦略』

小売の十字路

世事雑感

「平成越え」

小売のための企画企業であった「セブンズクラブ」が今年6月末で事務所を閉鎖し催事企画の事業を止めるとFAXがあった。「セブンズ」と言えば宝飾の業界ではそれなりの知名度がある。売上げが低迷し資金繰りに窮った会社で、催事企画は一つのビジネスモデルでもあったわけだが、地方の人口減や高齢化、消費者のジュエリー離れなど環境の変化の波に対応

できなかったのではないかと。プライダルの小売りや手作りジュエリーも手掛けていたようだが、現在のところ一つのモデル事業の構築までには至っていない

Advertisement for BICO・GHI featuring a logo and contact information for their jewelry business.

でも「プライダル」は有力な事業のように言われているが実態はどうなのか。今も10年前も少子化や格差の広がりには相変わらずで、ましてや様々な形式を省いてしまう「無し婚」が流行っている現実からは、どう考えても「プライダル」がジュエリーマーケットの主流とは思えない。むしろ、じり貧の部類ではと思われる。

推測だが、新規のビジネスモデルが見えない中プライダルジュエリーを手掛けた企業がたまたまうまくいったために、我も我もと参入したのが真相で、リフォームマーケットもそうだが、喧伝されているほどの需要サイズは多分ない。利益を出して順調に運営しているのはほんの一握りで大部分は投資額に見合わないまま慢性の赤字で苦しんでいるのがまぎれもない現実だと思われる。「セブンズ」もマーケットを読み間違えたのかもしれない。

催事企画以外の販促事業は、別名の会社で引き継ぐと書いてあったが、どちらにしても「平成」の終わりに「手仕舞う」というところに時代の節目を感じた。売上げが低迷し資金繰りに窮しているどの企業にとっても「平成越え」は一山を超えるがごとき大変なエネルギーを要するに違いない。

ビジネスモデルということになると宝飾業界では「プライダルジュエリー」が一時盛り上がったことがあった。10年前くらいの事だと記憶しているが、今

話題になっている。御徒町の買い取り屋さんと実際にあった話。

1カラットのダイヤのルースを持ち込んだお客さんがいて、40万程度の価格を付けようとしたところ、よく見るとガードルのところにほんのわずかに黒いものが見えた。よく見てみると合点を示すマークだったということで難を逃れたという。

デビアスが合成ダイヤジュエリーをまは、アメリカで売り出すと報じられている。でも中国で製造していれば、すぐにも横行して日本に流れてくる。古めなプラチナ枠にでもはめ込まれたら、買い取り屋さんは騙されそうな気がする。

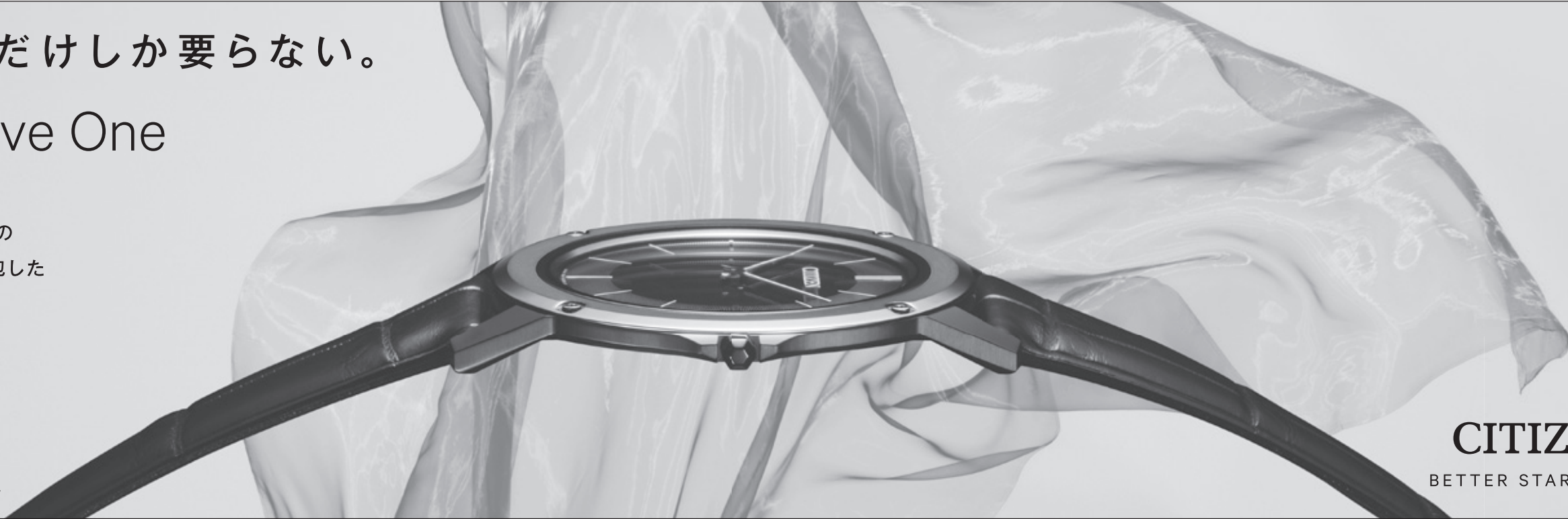
合成ダイヤのジュエリーが出れば、案外質のいいカラーストーンが天然石ということで相対的に人気が出るかもしれない。デビアスの試みも見方によっては、かなりのリスクを含んでいると思える。

貧骨 cosmoloop.22k@nifty.com

美しさ。だけしか要らない。 Eco-Drive One

世界最薄 1.00mmのムーブメントを内包した光発電時計。

AR5025-08E 400,000円+税 \*アナログ式光発電時計として、2018年3月現在、シチズン時計調べ、シチズン時計株式会社 http://citizen.jp



CITIZEN BETTER STARTS NOW



世界の審美眼を挑発する。グランドセイコー

GS Grand Seiko

SBGR261 400,000円+税 メーカー希望小売価格 自動巻メカニカル www.grand-seiko.jp

セイコーウォッチ株式会社